

市議団ニュース

連絡先

2017年1月22日号

杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058

石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所4F）の住所・久喜市下早見85-3】

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です

成人を迎えた地域別の人数（人）

	男	女	合計
久喜地域	347	354	701
菖蒲地域	96	90	186
栗橋地域	165	148	313
鷺宮地域	166	183	349
全 体	774	775	1549

久喜市政・これからの課題

2017年の久喜市政、昨年から重要案件が相次ぎ、大きな課題が目白押しです。

◆「理科大学移転に伴う跡地利用計画」跡地には、市内全校の給食を調理する超大型の給食センターの建設計画が進められ「自校給食」の継続が危機に陥っています。

◆「久喜総合病院の破たん問題」「済生会栗橋病院の移転問題」久喜市の地域医療のありかたが大きく問われています。

◆国の社会保障費削減で「介護保険制度の改悪」「医療費負担の値上げ見直し」

◆国民健康保険の会計が埼玉県に移ることによる保険税への影響。

◆ごみ処理場建設、施設整備基本構想策定。こうしたことが、引き続き市政の重要課題となります。市民目線で頑張ります。

誓いの言葉



中学の同級生で
記念の一枚



会場いっぱいにつどう成人たち。（鷺宮会場で）

若者世代を中心に、派遣労働など「非正規雇用」が多く、ブラック企業の存在も深刻。「働いているのに貧困！」という社会問題があります。「このままでは、付き合いもできない」「結婚なんて夢だ」という若者の叫び・怒りが身近にも聞こえます。「住みよい久喜市を作るにはどうしたらいいのか」「格差拡大を是正する道はあるのか」その道はあります。世代を越えて共に手を携え、力を合わせましょう。

おめでとう！
新成人1549名

8日、久喜市内4か所で「成人式」がおこなわれ、希望に燃える新成人がroudいました。

若者と手をたずさえて

住みよい久喜市に

意見書を提出

日本共産党久喜市議団提案

「南スーダンから自衛隊を速やかに撤退させることを求める」意見書

自衛隊が「駆けつけ警護」の新任務を執行すれば、武器を使用することになり「憲法9条」の禁止する武力行使そのものになることから提出しました。採決の結果少数で否決となりました。賛成は、共産党・市民の政治でした。

「市民の政治すすめる会」と共同提案

「子ども医療費助成制度の充実を求める意見書」

本会議では「全会一致」で可決され、国に提出されることになりました。

11月議会 市民の目線で

11月議会には、市長提出議案130号（165号まで）36の議案が提出されました。共産党は31議案中、市民の立場から、問題が多いと判断した5議案に反対をしました。

◆ 一般会計補正予算に反対

討論で問題点を指摘しました。

① 東京理科大学跡地活用の予算が計上されています。跡地に大型物流センターが建設され静かだった環境が一変します。市は、この地に子育て教育センターを計画しています。

② 大型給食センターの建設に向けた予算が組まれました。学校で調理する自校方式の学校給食がなくなります。暖かい給食が出せ、教育の面でも優れた給食を進めるべきです。市民の声も聞かず、財政面からのメリットが強調され、進め方にも問題があります。

③ 理科大キャンパスの活用では、A棟（52の部屋があり資産価値5億9000万円）を駐車場確保で取り壊す。費用は8800万円かかる。費用や資産価値を考え再考すべき、駐車場の設置については別の案も提案。

④ マイナンバー予算が計上されている。情報漏洩が既に報道されており問題。国の移管事務でありながら、市の持ち出しもある。

⑤ 人事院勧告に基づく給与改訂予算では、議員報酬の改訂も含まれる。不況続きで厳しさを増す市民のくらしを考えれば反対との判断。

その他の議案や予算内容

◇ 臨時福祉給付金 4億円

◇ 人・農地問題解決推進事業 1700万

◇ 障がい児通所給付 放課後デイサービス 3600万

◇ 釣り場撤去 約800万が組まれています。

ごみ処理施設統合問題

2016年12月20日 全員協議会が開催され、久喜・宮代町とのあいだで、「新たなごみ処理施設の建設等に関する基本協定」を締結したとの報告がありました。

新たなごみ施設の建設の現状と今後の予定は

現在、久喜市の3つの施設を統合し、新たな施設を設置すべく、ごみ処理の方針や理念、数値目標等を定めるごみ処理基本計画を策定中です。計画策定後2017年度には、施設整備の基本構想を策定し、環境アセスメントを実施後、基本計画とともに建設の事業手法、公設公営、公設民営、民設民営を検討。2018年度には処理施設の建設事業者を選定し、2020年度には、実際の施設建設に進み、2023年(平成35年)の稼働を目指していく。公園を含めた用地買収は2019年度実施予定です。

これまでの久喜・宮代衛生組合で進めてきたゴミの分別・削減などの推進をどう踏襲させるか、運営方式、まわりの環境をどう守るのかなどが今後の課題です。

宮代町と締結した主な内容は

- ①久喜市の負担により、新施設の建設に必要な調査や計画は久喜市でつくる。
- ②久喜市は用地の取得、新施設の建設を行う。
- ③宮代町は久喜市にゴミ処理に関する業務を委託し、負担金を支払う。負担金については維持管理の総額が判明した後協議して決める。
- ④解体費用は久喜市、宮代町、久喜宮代衛生組合で協議し決める。
- ⑤し尿処理については、別に久喜市と宮代町で決定する。以上が主な内容です。

菖蒲清掃センター



市が計画しようとしている菖蒲地域での施設統合は、事務所、焼却炉(1日最大75トンを2基で150トン処理)の移転だけであり、し尿処理施設は建設するとの計画は示されていません。

また、八甫のし尿処理施設では、現状で久喜地域、菖蒲地域(現在、北本市へ委託)のし尿を処理できる能力はありません。

八甫の施設を拡充するか、菖蒲の予定地を拡張するか問われています。

知らなきゃ損する「セルフメディケーション税制」

11月議会では、医療費控除に関わる条例改正がありました。これまでの医療費控除は、納税者が本人や家族のために支払った医療費が一定額を超える場合に、確定申告の際に所得から差し引きすることができていました。今回はさらに、一定のスイッチOTC医薬品(*1)を購入した場合、自己又は自己と同一生計の親族の支払った合計額が1万2千円をこえたときは(その合計が8万8千円まで)所得金額等から控除ができます。

平成29年1月1日から平成33年12月31日までの時限立法です。

◆これまでの医療費控除の計算方法

1年間(1月~12月)に支払った医療費の合計(保険金補填は除く)	—	10万円又は、所得金額の5% どちらか少ない方	=	医療費控除額 (最高200万円)
----------------------------------	---	----------------------------	---	---------------------

これからは、これまでの医療費控除か医薬品の控除かを選択して確定申告の時に控除ができます。

今回の特例措置を利用するときのイメージ

(参考事例) 課税所得400万円の者が、対象医薬品を年間2万円購入した場合)

20,000円 (対象医薬品を家族が購入した合計額)	—	12,000円	=	8,000円が控除される (減税額: 所得税は20%なので1600円、住民税は800円)
-------------------------------	---	---------	---	---

※1 スイッチOTC医薬品の対象となる医薬品のマークです



議会の定数について

日本共産党久喜市議団 定数削減には反対

12月20日の代表者会議で議員定数について協議されました。他会派からは2~3名削減の提案がされています。日本共産党は議員の定数削減には反対です。

その理由は・・・
議員定数の削減は、市民の意見や要望を把握し、福祉増進を進める議会の力が弱まることにつながります。合併してから議員の姿が見えなくなったという指摘や、投票率が下がり続けていることも無関係ではないと考えます。

合併前の63名から30名に減らした結果、地域の声が届きにくくなっています。行政に対する監視機能を有し、政策提案をすべき議会を縮小させることは、議会の機能を低下させる自殺行為に等しく、市民の利益から見ても反対です。